設立後２年間の予算書

（収入予算総括表）

（単位：千円）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 科　目 | 初年度（　か月） | 次年度 |
| 医業収入　入院収入外来収入その他医業外収入借入金拠出金等前年度繰越金　　　　　　　　　　　　 | 　　　 | 　　 |
| 合　計 |  |  |

（支出予算総括表）

（単位：千円）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 科目 | 初年度（　か月） | 次年度 |
| 医業費用医業外費用施設整備費　施設整備費医療機器購入費借入金（元金）返済法人税等（租税公課）翌年度繰越金 |  |  |
| 合　計 |  |  |

（運転資金）

（単位：千円）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 必　　要　　額 | 準　　備　　額 | 内訳 | 拠出金等 |  |
|  |  | 窓口収入 |  |

（作成上の注意）

１．不要な科目は削除して差し支えないこと。

２．事業計画及び各年度の予算書の内容と一致させること。

３．1,000円未満は、四捨五入しても差し支えないこと。ただし、各科目の合計等の計算結果については正しくなるように調整すること。

４．「拠出金等」は、財産目録（様式例３）のうち「現金」、「預金」及び「医業未収金」を合算したものであること。

５．法人税等（租税公課）は、発生主義に則って記載すること。

　　よって、実際の納税は翌年度になる場合であっても、税金相当額は初年度に計上すること。

６．運転資金「準備額」は、「必要額」と同額かそれ以上であること。

７．運転資金「必要額」の求め方

必要額＝初年度支出（医業費用＋医業外費用＋借入金（元金）返済）の２か月分

８．運転資金「準備額」の求め方

準備金＝拠出金（現金）＋現物拠出財産（預金＋医業未収金）＋窓口収入の２か月分

９．この予算書は、現金の流れ（キャッシュ・フロー）を表すものであるため、減価償却費のように実支出を伴わない科目は計上しないこと。

10．認可予定月の翌月から会計年度末日までを初年度とする。

ただし、初年度の期間が６か月未満の場合は、次々年度を含め３か年分作成すること。